



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 サイボーク株式会社
コード番号 3123 URL <http://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 飯塚 剛司
(氏名) 藤井 孝男
配当支払開始予定日

TEL 048-267-5151
平成22年12月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第2四半期 | 4,361 | 1.5 | 795 | △3.0 | 734 | △19.1 | 236 | △47.5 |
| 22年3月期第2四半期 | 4,298 | △18.9 | 820 | 15.4 | 907 | 27.2 | 450 | 165.0 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 17.32 | 17.32 |
| 22年3月期第2四半期 | 33.01 | 33.01 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 27,364 | 13,151 | 41.6 | 833.56 |
| 22年3月期 | 27,623 | 13,325 | 41.3 | 836.67 |

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 11,370百万円 22年3月期 11,412百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 合計 |
|------------|--------|--------|--------|------|-----|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 円 銭 | |
| 22年3月期 | — | 7.00 | — | 7.00 | 円 銭 | 14.00 |
| 23年3月期 | — | 7.00 | — | — | 円 銭 | — |
| 23年3月期(予想) | — | — | — | 7.00 | 円 銭 | 14.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,733 | 0.6 | 1,455 | △10.4 | 1,365 | △21.4 | 550 | 1.9 | 40.32 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 14,000,000株 22年3月期 14,000,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 359,416株 22年3月期 359,337株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 13,640,624株 22年3月期2Q 13,640,713株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 4 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 4 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 4 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 4 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) セグメント情報 | 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国の順調な経済成長による輸出の増加や生産の持ち直し、企業の経費削減効果により、企業収益は総じて回復がみられるものの、設備投資や個人消費は引続き低調に推移しており、失業率は高止まりの傾向が続いております。また欧州の信用不安や米国の経済回復の遅れから急激な円高が進み、株安基調が続く中で、景気回復を牽引してきた輸出企業にも業績の下振れ懸念が言われるなど、今後の景気動向は依然として先行き不透明な状況となりました。そのような中で、当社グループにおける事業環境は一部に円高の恩恵があるものの引続き厳しい状況となりました。

① 繊維事業

原糸販売は、日本合繊メーカーの糸生産の縮小および一般資材織物の市況回復により、輸入ポリエステル糸・レーヨンフィラメント糸および紡績糸の販売が好調に推移し、大幅な増収となりました。また高級品である麻織物は消費者の高額ブランド品離れの影響を受けながらも僅かに増収となりました。アパレル関係は、スポーツ関連商品や法人ユニフォームが堅調に推移し百貨店への売上に回復の兆しが見えたものの大口SP商品の受注が伸びず大幅な減収となりました。カジュアル縫製品関係は、自社企画商品「ユミカツラ（桂由美）」ブランドを百貨店へ直接販売していく路線の効果が一部現れたものの、OEMその他の販売不振により減収となりました。刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、販売を強化して増収となりました。寝装品はギフト市場の繊維品離れの影響を挽回できずに僅かな減収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は17億74百万円(前年同期比14.3%増)となり、営業損失は76百万円改善して12百万円となりました。

② 商業施設賃貸事業

二つの大型商業施設の内、「イオンモール川口キャラ」は近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性が高く評価され、一方の「イオンモール川口グリーンシティ」は施設更新工事に注力して、安定した収益基盤を維持できました。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は12億99百万円、営業利益は7億8百万円となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、若年プロゴルファーの活躍など若年層の入場者は増加傾向にあるものの、今夏の猛暑の影響から全体の入場者、売上高ともに前年同期に比べて大幅な減少となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は5億20百万円、営業利益は76百万円となりました。

④ その他の事業

その他の事業においては、主に埼玉興業(株)の自動車教習所事業は、業界全体が少子化・免許離れによる入校生減少に加え、長引くデフレにより二輪車の入校生が減少して減収となりました。

この結果、その他の事業の売上高は7億67百万円、営業利益は30百万円となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は、43億61百万円(前年同期比1.5%増)、経常利益は7億34百万円(前年同期比19.1%減)となりました。四半期純利益につきましては、立退補償金5億10百万円の特別損失を計上して、2億36百万円(前年同期比47.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、現金及び預金が増加したものの、有価証券及び投資有価証券の減少並びに有形固定資産の減価償却が進んだこと等により前連結会計年度末に比べ2億59百万円減少して273億64百万円となりました。

負債は、固定負債のその他に含まれている長期未払金の増加があったものの、未払法人税等の減少により前連結会計年度末に比べ85百万円減少して142億12百万円となりました。また、純資産はその他有価証券評価差額金及び少数株主持分の減少により前連結会計年度末に比べ1億73百万円減少して131億51百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照して下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

① 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響額は軽微であります。

② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|-------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,136,773 | 3,687,153 |
| 受取手形及び売掛金 | 948,086 | 958,800 |
| 有価証券 | — | 88,949 |
| 商品及び製品 | 511,201 | 423,289 |
| 仕掛品 | 25,481 | 30,444 |
| 原材料及び貯蔵品 | 30,466 | 32,338 |
| その他 | 194,346 | 495,199 |
| 貸倒引当金 | △13,452 | △11,498 |
| 流動資産合計 | 5,832,902 | 5,704,676 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 11,657,332 | 11,934,670 |
| 土地 | 5,117,297 | 5,240,660 |
| その他(純額) | 135,038 | 133,261 |
| 有形固定資産合計 | 16,909,668 | 17,308,591 |
| 無形固定資産 | 191,558 | 244,715 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,690,628 | 3,968,026 |
| その他 | 748,287 | 405,564 |
| 貸倒引当金 | △8,594 | △7,645 |
| 投資その他の資産合計 | 4,430,321 | 4,365,945 |
| 固定資産合計 | 21,531,549 | 21,919,253 |
| 資産合計 | 27,364,451 | 27,623,929 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 418,789 | 453,273 |
| 短期借入金 | 150,000 | 150,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 210,000 | 210,000 |
| 未払法人税等 | 31,992 | 418,950 |
| 賞与引当金 | 85,864 | 87,793 |
| 役員賞与引当金 | 3,100 | 38,070 |
| その他 | 950,057 | 954,141 |
| 流動負債合計 | 1,849,804 | 2,312,229 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,330,000 | 1,435,000 |
| 退職給付引当金 | 283,608 | 298,709 |
| 役員退職慰労引当金 | 168,097 | 163,122 |
| 長期預り保証金 | 9,430,889 | 9,392,313 |
| その他 | 1,150,313 | 697,094 |
| 固定負債合計 | 12,362,908 | 11,986,239 |
| 負債合計 | 14,212,712 | 14,298,468 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,402,000 | 1,402,000 |
| 資本剰余金 | 868,685 | 868,685 |
| 利益剰余金 | 9,410,201 | 9,266,984 |
| 自己株式 | △252,054 | △252,018 |
| 株主資本合計 | 11,428,831 | 11,285,651 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △14,615 | 167,109 |
| 繰延ヘッジ損益 | △43,989 | △39,963 |
| 評価・換算差額等合計 | △58,605 | 127,146 |
| 新株予約権 | 21,983 | 20,581 |
| 少数株主持分 | 1,759,529 | 1,892,081 |
| 純資産合計 | 13,151,738 | 13,325,461 |
| 負債純資産合計 | 27,364,451 | 27,623,929 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 4,298,751 | 4,361,439 |
| 売上原価 | 2,704,258 | 2,832,301 |
| 売上総利益 | 1,594,493 | 1,529,137 |
| 販売費及び一般管理費 | 773,720 | 733,164 |
| 営業利益 | 820,773 | 795,973 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 15,391 | 7,236 |
| 受取配当金 | 20,899 | 33,318 |
| 持分法による投資利益 | 32,600 | 25,795 |
| 有価証券運用益 | 81,000 | — |
| その他 | 25,896 | 16,920 |
| 営業外収益合計 | 175,787 | 83,270 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 64,805 | 62,744 |
| デリバティブ評価損 | 20,881 | 35,040 |
| その他 | 3,649 | 47,434 |
| 営業外費用合計 | 89,336 | 145,218 |
| 経常利益 | 907,223 | 734,024 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 32,992 | 11,414 |
| 投資有価証券売却益 | 9,827 | 8 |
| 貸倒引当金戻入額 | 10,355 | — |
| 特別利益合計 | 53,175 | 11,423 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 37,886 | 50,159 |
| 固定資産売却損 | 653 | 5,494 |
| 投資有価証券評価損 | — | 517 |
| 投資有価証券売却損 | 1,839 | — |
| 立退補償金 | — | 510,000 |
| 特別損失合計 | 40,379 | 566,172 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 920,020 | 179,275 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 323,359 | 29,152 |
| 法人税等調整額 | 53,611 | 35,961 |
| 法人税等合計 | 376,971 | 65,114 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 114,160 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 92,742 | △122,088 |
| 四半期純利益 | 450,305 | 236,249 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 920,020 | 179,275 |
| 減価償却費 | 446,975 | 420,905 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △59,050 | 2,904 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △15,401 | △1,929 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △20,175 | △34,970 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △1,780 | △15,101 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △4,910 | 4,975 |
| 受取利息及び受取配当金 | △36,291 | △40,554 |
| 支払利息 | 64,805 | 62,744 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △32,600 | △25,795 |
| 有価証券運用損益 (△は益) | △81,000 | 20,880 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △7,987 | △8 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 517 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 454,801 | 10,713 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 44,664 | △81,075 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △38,729 | △34,484 |
| 長期未払金の増減額 (△は減少) | — | 505,000 |
| その他 | 61,578 | 116,154 |
| 小計 | 1,694,917 | 1,090,152 |
| 利息及び配当金の受取額 | 39,033 | 46,581 |
| 利息の支払額 | △64,461 | △62,399 |
| 法人税等の支払額 | △164,068 | △410,352 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,505,421 | 663,981 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の売却による収入 | 40,000 | 66,333 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △195,406 | △172,605 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 36,011 | 160,413 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △222,137 | △161,384 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 66,415 | 128,884 |
| 定期預金の増減額 (△は増加) | 55,507 | 54,094 |
| 貸付けによる支出 | — | △24,000 |
| 貸付金の回収による収入 | 6,000 | 24,000 |
| その他 | △35,534 | △812 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △249,144 | 74,922 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 700,000 | 200,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △400,000 | △200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △105,000 | △105,000 |
| 配当金の支払額 | △93,033 | △93,032 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △6,184 | △6,184 |
| その他 | △30,343 | △30,972 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 65,438 | △235,189 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | — |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,321,715 | 503,714 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,452,392 | 3,216,640 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,774,107 | 3,720,355 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

| | 繊維事業 (千円) | 不動産活用 事業 (千円) | その他の事業 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------|--------------|---------------------|----------------|-----------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 1,552,670 | 2,334,465 | 411,615 | 4,298,751 | — | 4,298,751 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 8,441 | 201,690 | 210,131 | (210,131) | — |
| 計 | 1,552,670 | 2,342,906 | 613,306 | 4,508,883 | (210,131) | 4,298,751 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △88,854 | 914,134 | 23,123 | 848,404 | (27,631) | 820,773 |

(注) 1 事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品又は事業内容

| 事業区分 | 主要製品又は事業内容 |
|---------|--|
| 繊維事業 | レーヨン系、合繊系、麻生地、ニット製品、刺繍レース、ユニフォーム、寝装寝具品、衣料品、販促商品の販売 |
| 不動産活用事業 | 商業施設賃貸業、ゴルフ練習場・自動車教習所の運営、ビルメンテナンス |
| その他の事業 | 自動車の板金塗装修理、ギフト商品の販売、インテリア施工、自動給水植木鉢の販売及びレンタル業 |

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当社及び連結子会社は本邦に所在するため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、セグメント情報においては、「繊維事業」「商業施設賃貸事業」「ゴルフ練習場事業」を報告セグメントとしております。

「繊維事業」は、繊維品の製造販売を行っており、「商業施設賃貸事業」は、商業施設の賃貸を行っており、「ゴルフ練習場事業」は、ゴルフ練習場の運営を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

| | 報告セグメント | | | | その他の事業 (千円) (注)1 | 合計 (千円) | 調整額 (千円) (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3 |
|-----------------------|--------------|----------------------|--------------------------|-----------|------------------------|------------|---------------------|---------------------------------------|
| | 繊維事業 (千円) | 商業施設 賃貸事業 (千円) | ゴルフ 練習場 事業 (千円) | 計 (千円) | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,774,573 | 1,299,367 | 520,037 | 3,593,978 | 767,460 | 4,361,439 | — | 4,361,439 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,500 | 137,282 | — | 140,782 | 97,183 | 237,965 | (237,965) | — |
| 計 | 1,778,073 | 1,436,649 | 520,037 | 3,734,761 | 864,643 | 4,599,405 | (237,965) | 4,361,439 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △12,135 | 708,661 | 76,869 | 773,395 | 30,901 | 804,296 | (8,323) | 795,973 |

(注)1 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。